

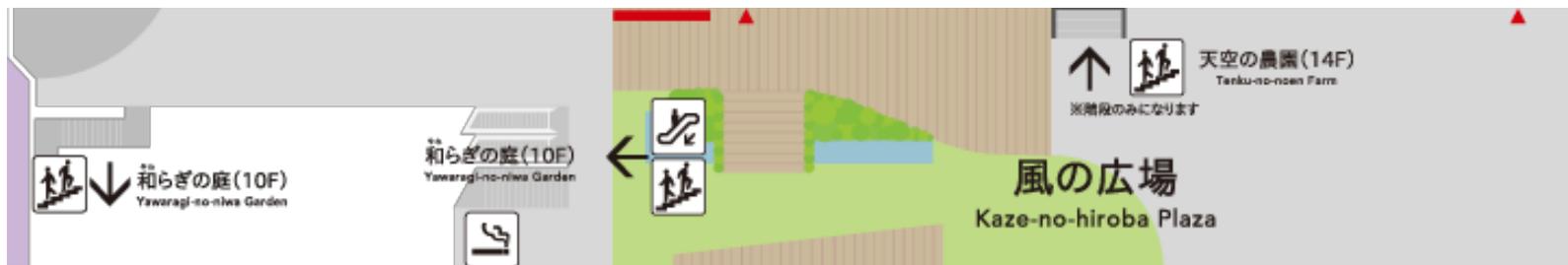
風の広場



風の広場



大阪の綺麗な
街並みが見える



風の広場

風の広場の特徴はまずそのロケーションにある。風の広場は大阪ステーションシティのノースゲートビルディングの11階にあり、大阪以内のビル街が一望できる。また大阪ステーションシネマと直結していて、多くの利用者が映画が始まるまでの時間や終わってから利用する。つまり多くの展望台と違い堅い感じがなく無料で利用できる。もう一つ多くの展望台と違う点がある。風の広場は一応大阪の街並みを一望できるが、展望台ではないため、高さがそれほどなく、見下げる行為とともに見上げるという行為が存在する。それが風の広場が不思議な場所と感じれる点である。最後に「風」の広場という名前どおり、ビルがひしめき合う都心の中のビルの屋上にあることで、夏場は特に地上では感じられなかった涼しく心地よい風が常に吹いている。心地よい風を浴びながら都心の真ん中に浮いているような気分が味わえる風の広場は不思議な場所である。

風の広場はきれいな景色に「風」を加えることで人の感性を多方面で刺激する場所である。

風の広場

調査日時： 2018年6月13日

調査場所(住所)： 大阪ステーションシティ ノースゲートビルディング11階

寸法・面積： 約200m²

利用者数： 毎日300～500人程度

利用者層： 10代から60代までが主

活動内容： 休憩

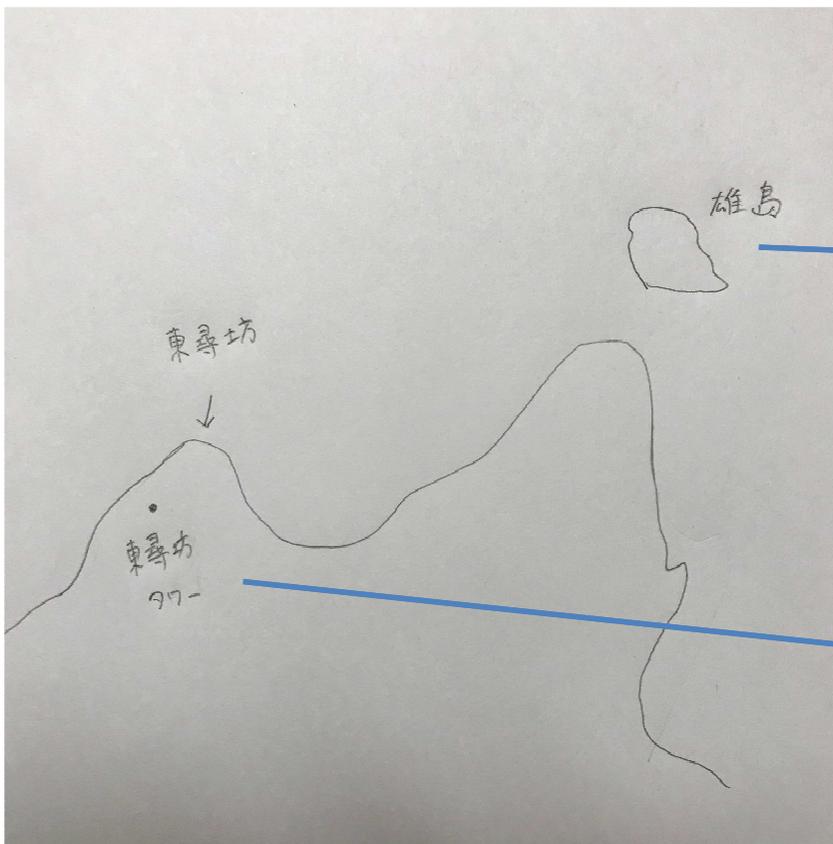
活動頻度： 毎日

その他特徴： 映画館と直結している。

東尋坊



東尋坊



福井県の北側に位置し、
日本海に面した観光ス
ポットである。



東尋坊

ここ一年で自分が訪れた視点場でぱっと浮かんだのが東尋坊であったためこれを今回の課題の題材にした。

東尋坊は福井県の北側、日本海に面した海食崖である。高さは一番高いところで約25メートルある。名前の由来は、乱暴あるいは恋愛関係で恨みを買ってここから突き落とされた平泉寺の僧の名前による。

周辺には地上55メートルのレトロな東尋坊タワーや、東尋坊や雄島を海から眺められる遊覧船ツアー、登山や洞窟探訪ができ、水族館もある越前松島など観光スポットがたくさんある。

訪れたとき、ほかにも家族連れや夫婦、カップルなどさまざまな観光客がいた。彼らは写真を撮ったり、岩に腰を掛けて景色を堪能していた。時間帯は夕方で、ちょうど日が沈みかけており情緒的で開放感のある景色であった。自分は怖くて崖の先の方には行けなかったが、ぎりぎりまで行き、スリリングな遊びをしている人もいた。

東尋坊

調査日時: 2017/9/6

調査場所(住所): 〒913-0063 福井県坂井市三国町安島

寸法・面積: 31.4ha

利用者数: 年間1000万人

利用者層: 老若男女すべて

活動内容: 観光

活動頻度: 年中

その他特徴: 自殺の名所

地中カフェ

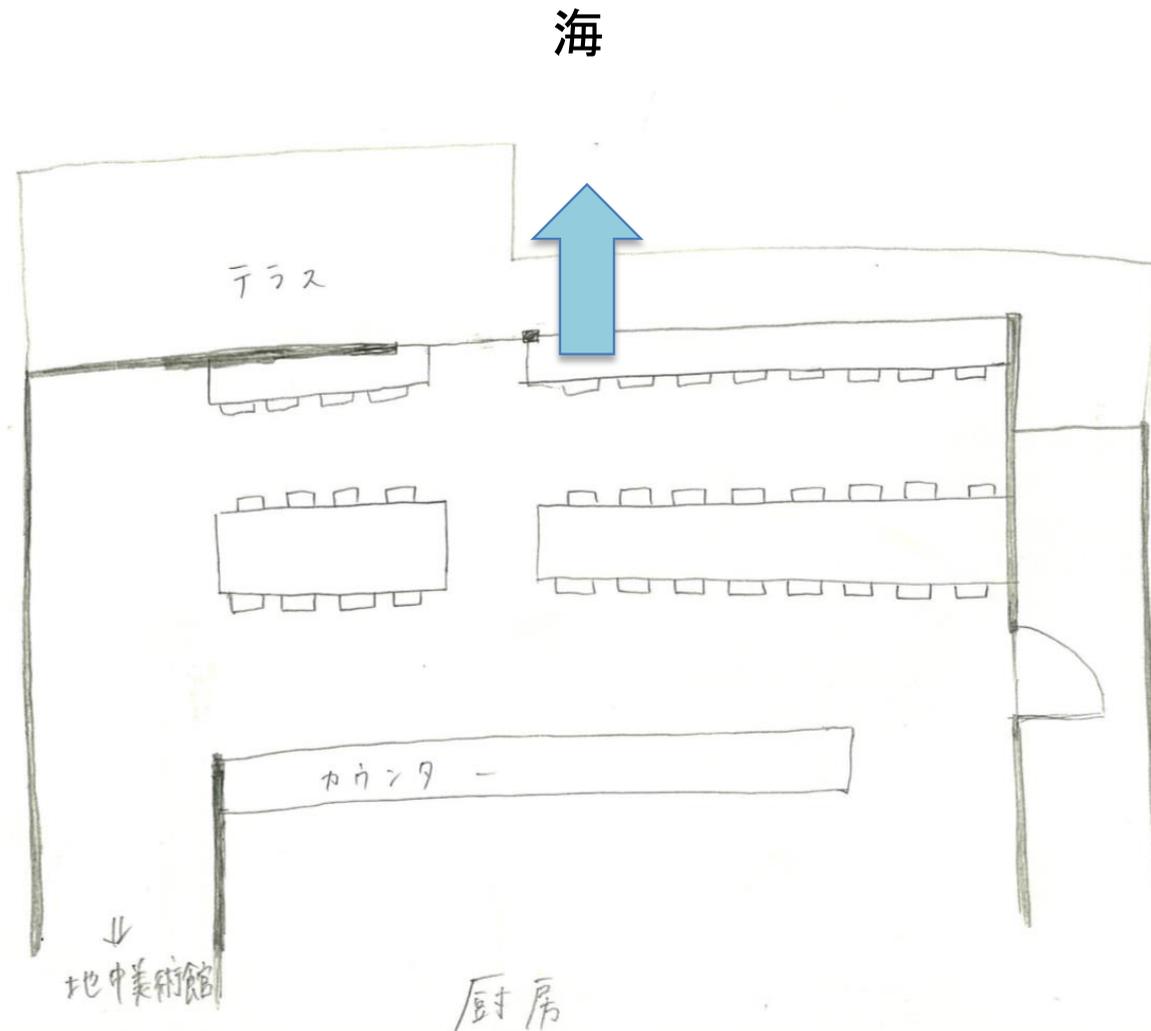


↑地中美術館 入口

↓地中カフェからの眺望



地中カフェ



地中美術館の中にあるカフェ。そこから瀬戸内海を一望できる。
多くの人がカメラを構えており、視点場といえる。

地中カフェ

アートの島、直島にある地中美術館の中にあるカフェ。

何も遮ることなく瀬戸内海を一望できる。また、カフェの中からはコンクリートの枠に囲われ、まるで切り取られた絵のように見える。

景色を楽しむには最適な場所だと思い、視点場として選定した。

地中カフェには、大きな窓が一つしかなく、視線が海の方へと誘導される。

そして、カフェの席はほとんどが外に向いているので穏やかで美しい瀬戸内海を眺めながら、瀬戸内ならではの食事を楽しむことができる。

また、外にはテラスや椅子が置かれており、天気の良い日には青空の下で景色を眺めることも可能である。

地中美術館の作品をじっくり堪能した後の地中カフェからの景色はまるで作品の延長のようでとてもきれいであった。

景色に注目することはあっても、それを見ている場所については考えたことがなかったので、よい機会となった。

地中カフェ

調査日時: 2018年3月23日

調査場所(住所): 香川県香川郡直島町3449-1

寸法・面積: 34.98m²(地中美術館)

利用者数: 時間帯により異なる

利用者層: 老若男女, 観光客

活動内容: ランチ, 休憩

活動頻度: 朝～夕方

その他特徴: 瀬戸内の特産品を堪能できる

大阪城公園

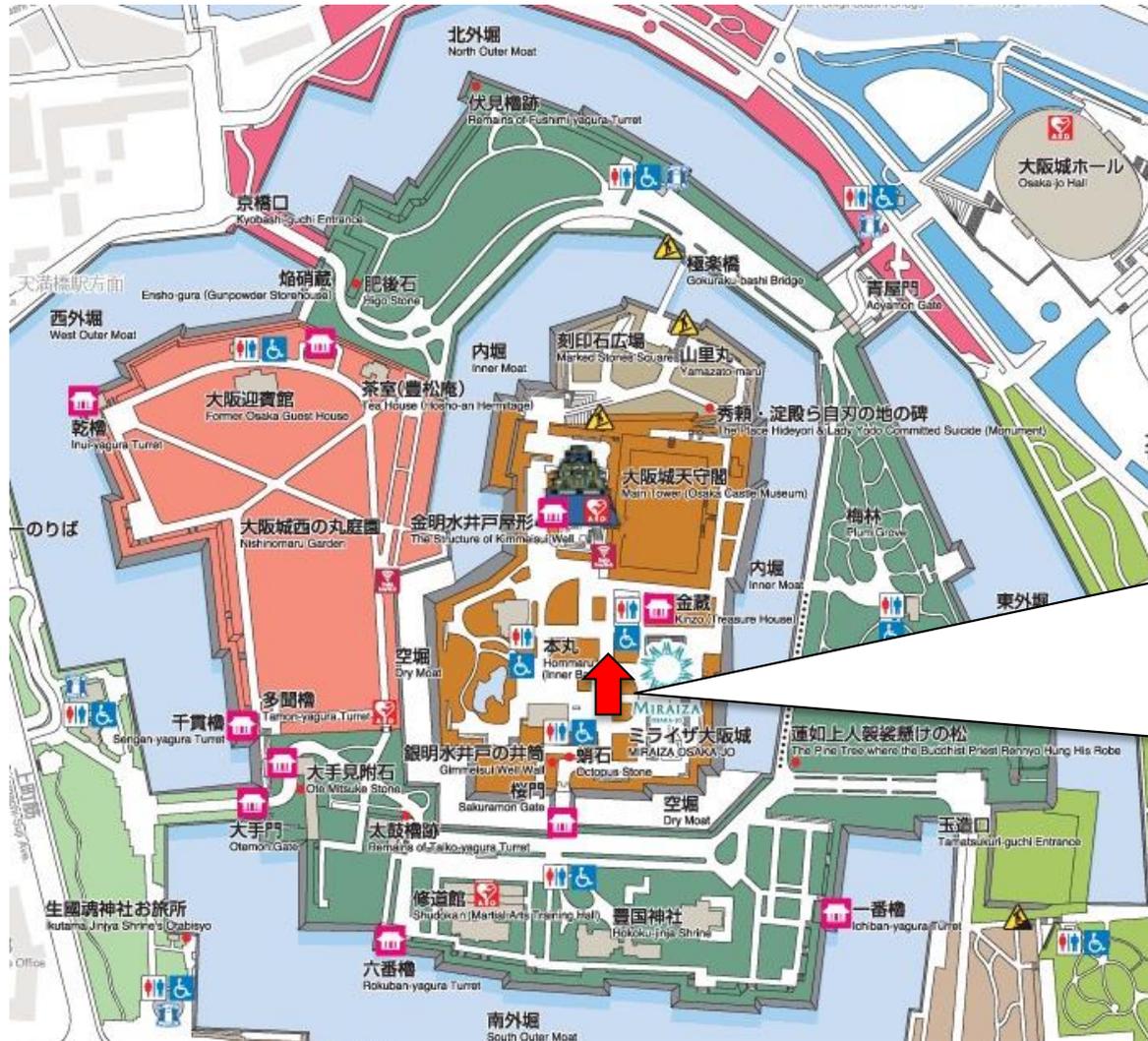


大阪城公園内にある視点場から
見える大阪城天守閣



視点場の横にあるミライザ大阪城

大阪城公園



桜門から堀の内側に入り、道なりに進むと広場のような場所に出る。そこを今回の視点場とした。

矢印と同じ方向に視線を向けるとP1左の写真のような景色が見える。

大阪城公園

森ノ宮駅近くのカフェでバイトをしていると、大阪城公園を目的にやってきた外国人のお客様が来店することがしばしばあったので、日本人だけでなく外国人にも人気な場所である大阪城公園、またその中でも特に目立つ大阪城天守閣が見える場所を視点場を選ぼうと思った。

大阪城公園内には大阪城天守閣が見えるスポットはたくさんあるが、その中でも今回私が選んだ視点場は特に人が多く集まる場所であると思う。なぜならこの視点場にはミライザ大阪城があり、ショッピングや食事も楽しめるからである。実際にこの視点場には天守閣の写真を撮る人や隣のミライザ大阪城で買ったアイスなどを食べながらぼんやりと天守閣を眺めている人など、思い思いに景色を楽しんでいる人が多かった。

また、大阪城公園は大阪の中央に位置し、大阪城公園駅だけでなく森ノ宮駅・天満橋駅・大阪ビジネスパーク駅・谷町四丁目駅・大阪城北詰駅など多くの駅からアクセス可能であるが、どの駅からもこの視点場までは徒歩で20分前後かかってしまう。

大阪城公園

調査日時:2018年6月2日

調査場所(住所):大阪府大阪市中心区大阪城

寸法・面積:1,055,643m²(大阪城公園全域の面積)

利用者数:30~40人(調査時視点場にいた人数)

利用者層:家族連れ、カップル、外国人旅行者

活動内容:観光、散歩、買い物、食事

活動頻度:大阪城内は9:00~17:00

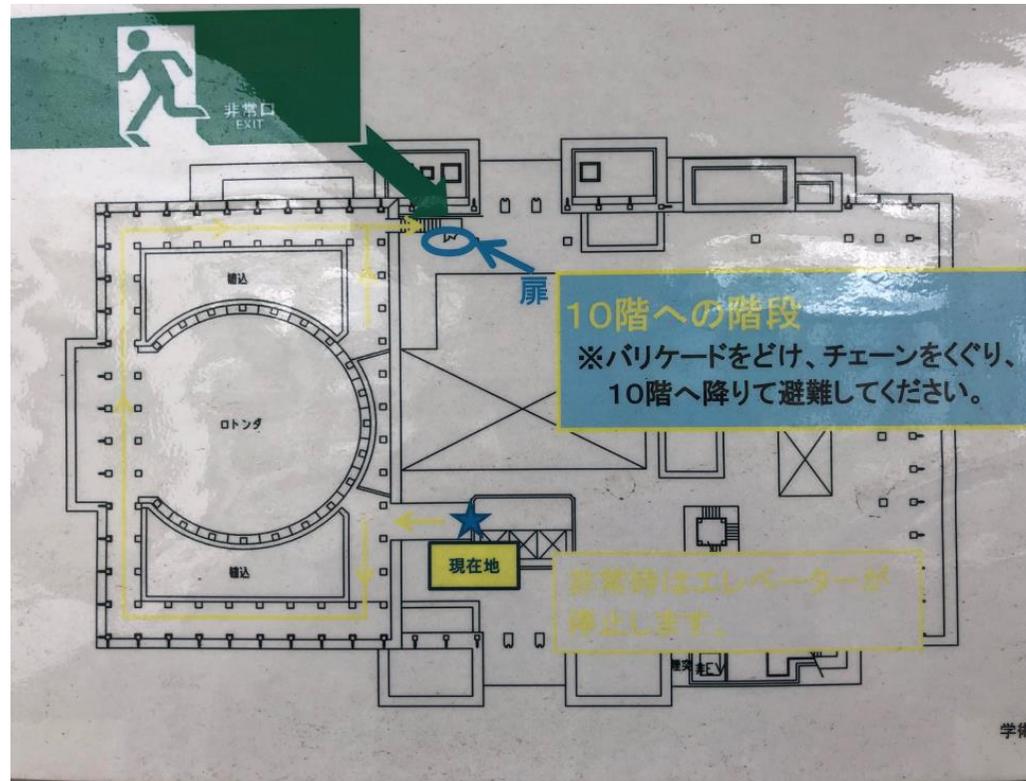
その他特徴:天守閣だけでなく本丸など他の歴史的建造物もある。

Asteria



学術情報センターの屋上にあるAsteria

Asteria



真ん中に大きな花壇があり、
周りを囲むように視店場がある。

Asteria

まずどうしてこの場所を選んだかということ、自分の通う大学のどこに視点場があるのか知りたかったからである。Asteriaの特徴は、とても高いところにあるためとても遠くまで見渡すことができる。10F建ての学情の屋上にある視点場である。感想は自分が見に行った日が特にだったのかもしれないが風がだいぶ強かった。なので少し怖がりの人にはあまり良いところではないのかなと感じた。しかしとても高く見晴らしもよいため晴れの日にはとてもとおくまでよくみえるとおもった。自分が行ったときは人はとても少なく大阪市立大学の中にある穴場スポットだとおもった。

Asteria

調査日時: 6/11 13:30ごろ

調査場所(住所): 大阪市立大学 学術情報センター 屋上

寸法・面積:

利用者数: 3人

利用者層: 大学生

活動内容: 談話

活動頻度:

その他特徴:

道頓堀グリコサイン



道頓堀にあり、大阪の名所ともいわれるグリコの大看板。

常に看板を背景に写真を撮る人がいる。遠方からの観光客か、外国人観光客である場合がほとんど。夜になると、24時まで看板がライトアップされる。

※プライバシー保護の観点から写真を一部ぼかしています。

グリコの大看板



難波駅から心斎橋駅周辺 ミナミの観光スポット



画像引用元 グリコ公式 <https://www.glico.com/jp/enjoy/contents/glicosign/>

心斎橋筋商店街と戎道筋商店街が接するところに位置する。商店街は人通りが多いので、より多くの人に看板を見てもらうことができる。

道頓堀グリコサイン

選定理由は、ちょうど現地を訪れる予定があり、難波と言えばグリコの看板だと個人的に思ったため。大阪市指定景観形成物に指定されている。

二つの商店街がぶつかるところに橋があり、そこが撮影のベストポジションとなっている。看板と同じポーズを取り写真を撮る人が絶えない。そのせいかキャッチがよくここで待ち構えていることが多い。正確には、川沿いに並ぶ店舗の外壁のおよそ2～4階部分に設置されている。だが、道頓堀グリコの店舗自体はここから少し離れたところにある。1935年に設置されて以降、時代の移り変わりとともにリニューアルされていて現在は6代目。背景は変化する。また、約14万個のLEDライトが使用されており、これに映像を映し出すことも可能なので、マークにとらわれず様々な映像を映し出すことも可能。過去には、水を使った噴射式、ネオン管などが使用されていた。

道頓堀グリコサイン

調査日時: 2018年6月9日

調査場所(住所): 道頓堀、心齋橋筋商店街と戒道筋商店街が接するところ

寸法・面積: 高所のため測定不能、長辺は三階分ほど

利用者数: 写真撮影待ちをしている人も多いほど

利用者層: 観光客、特に外国人が多い

活動内容: 企業、店舗の宣伝の役割を果たす

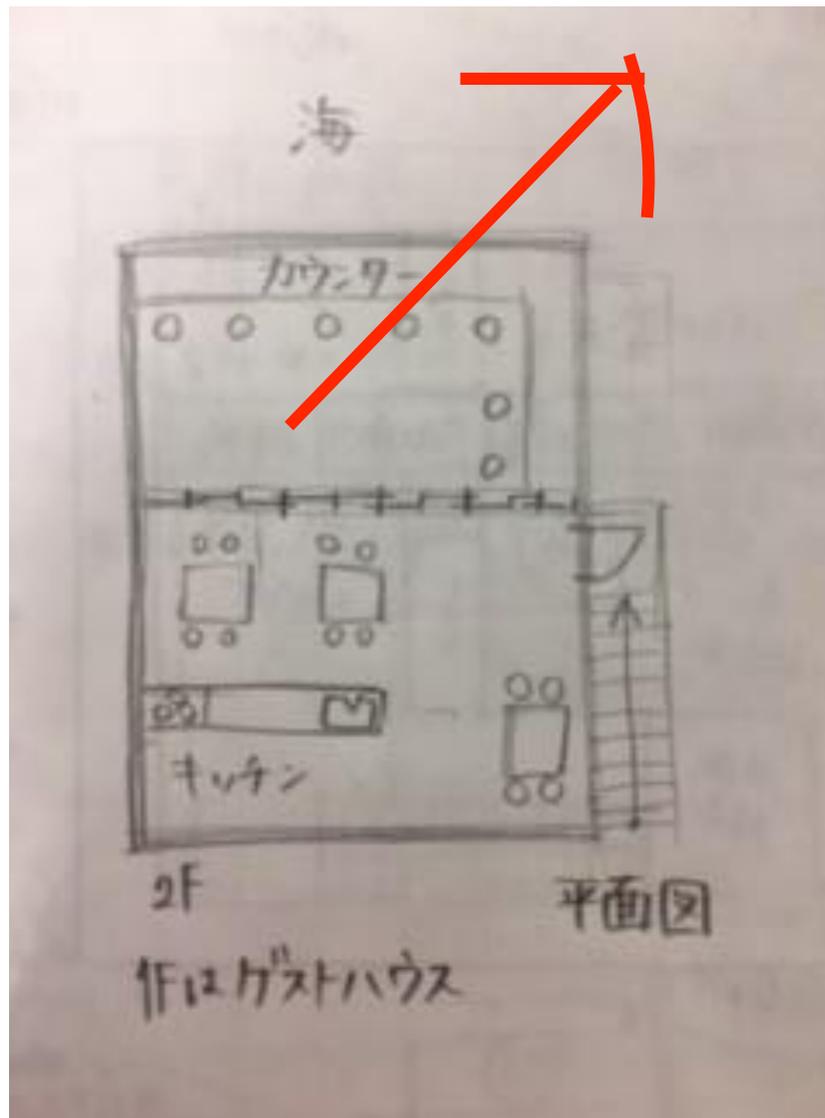
活動頻度: 常時(点灯は24時まで)

その他特徴: グリコ看板は、同じポーズをとって撮影する人が多い

CAFE GLUCK



CAFE GLUCK



テラスとカフェはフルオープンの大
きな窓で仕切られていて中からも
景色を見ることができるようになっ
ている

CAFE GLUCK

磯ノ浦海岸を一望できる。

6月でもサーファーなどの利用者が多い磯ノ浦海岸での唯一のカフェ。

海側のテラスがカウンター席となっており、お洒落なドリンク、フードとともに、海を見渡すことができる。1Fはゲストハウスとなっており、2Fがカフェとなっている。海で遊んで、帰りにちょっとカフェで一息、夕陽を眺める、など自然を感じることでできる視点場である。

基本、木で作られたあたたかみのある空間で、ちょっとおしゃれな海の家、といったことも感じることができる。水着のお客さんが居たり、どこか南国の雰囲気も感じることができる。中にはその海岸で撮った、夕焼け、朝焼けの写真があり、そこにいるだけで磯ノ浦海岸のいいところを発見することができる。

スタッフさんも気さくで、お客さんとスタッフさんのコミュニケーションも盛んに行われていた。

インスタなどのSNSでも取り上げられていて、最近流行りのインスタ女子もたくさんいた。

CAFE GLUCK

調査日時:2018/6/10

調査場所(住所):和歌山県和歌山市磯ノ浦386-2

寸法・面積:約5000mm×10000mm 約50m²

利用者数:不明 夕方ごろに行ったが10人ほどお客さんがいた

利用者層:若者中心

活動内容:カフェ

活動頻度:定休日は木曜日